

項目	内容
名称	エストラゴン、タラゴン、フレンチタラゴン [英]Tarragon、Little Dragon、French Tarragon [学名]Artemisia dracunculus L.、Artemisia glauca
概要	エストラゴンは、ロシア、西アジア、ヒマラヤ地方を原産とする芳香のあるキク科の多年草。高さ40～100 cm程度に生長する。主に地上部が用いられ、料理のハーブとして広く使用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。 <p>■ 海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・タンニン (33)、クマリン (33)、フラボノイド類 (33)、アルカミド類 (PMID:11730872)、精油 (22) などを含む。 ・精油はエストラゴールを含む (22)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部中のアルカミド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:11730872)。

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (PMID:11730872) Phytochemistry. 2001 Dec;58(7):1083-6. (PMID:22738981) Biosci Biotechnol Biochem. 2012;76(5):1028-31.